

学校名 草加市立川柳中学校
所在地 草加市青柳7丁目35番1号
電話 048-931-5827

1 本校の概要

週に2日実施している朝読書では、静かに読書をするだけでなく、進んで記録や感想を記している生徒もいる。また、昼と放課後に開放している図書館では、1日で利用者が100人を超える日もあり、全校的に図書への関心が高いといえる。さらに、学校図書館教育補助員を中心に環境が整えられているため、図書館が誰にとっても利用しやすくなっている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

学校図書館の活性化

(2) 実践の概要

ア 昼休みの図書当番

全校15学級、2人の委員が、月～金の昼休みと放課後に2人ずつで担当をしている。担当教員と共に書架の整理、来館者数確認、貸出・返却の処理、清掃などの仕事を行い、図書館の環境整備に努めている。



イ 委員による本の紹介

図書館に置いてある本についてポスターにまとめ、図書館内外に掲示し貸し出しを薦めた。また、放送では「今日は何の日？」を毎日読み、情報発信を行っている。

ウ 先生の推薦書の棚の設置

学校図書館教育補助員や司書教諭だけでなく、多くの先生からリクエストがあった本や新聞、新着図書、県の推奨図書などを目立つ場所に配架した。



エ 朝の一斉読書の実施

朝の会後の15分間を使い、一斉読書を行っている。個人が好きな本を読むだけでなく、学級文庫も積極的に活用するよう呼びかけている。

3 成果と今後の課題

(1) 今年度より図書委員会と放送委員とが合併した情報委員会の特性を踏まえ、利用の呼びかけに放送を活用するなどの工夫ができた。その結果、利用者が増え、本のリクエストが増えるなど図書館の活性化がなされた。

今後は放送での呼びかけを工夫していきたい。

(2) 今年度より設置された書架の活用のため、大幅に本の入れ替えを行った。特に企画展示に力を入れたことが、環境整備と読書活動の推進に役立ったようである。

(3) 学級文庫の充実により、全員が朝読書に参加することができた。自分の本を忘れた生徒のためだけでなく、読書好きな生徒を増やす、1日の始まりを落ち着かせるためにも効果があった。今後は、定期的に学級文庫を置きかえ、朝読書だけでなく総合的な学習の時間等の生徒のニーズにあった本を置くようにしたい。